

各位

株式会社 81 プロデュース付属養成所「81ACTOR'S STUDIO」

新型コロナウイルス感染防止対策ガイドライン【第2版】

弊社養成所では、新型コロナウイルス感染防止のため、以下の対策を施した上で、令和2年9月より運営しており、この度、令和3年1月にガイドラインの改訂を実施致しました。

なお本指針は、国内外の状況を踏まえながら、さらに追加・改訂が入る場合がありますので、ご注意ください。

1. 下記に該当する方は養成所への入館をご遠慮ください

- 体温 37.2°C以上、または平熱より +1.0°C以上熱がある方
- 強い倦怠感や咳、喉の痛み、鼻づまり、息苦しさといった症状のある方
- 味覚・嗅覚異常を感じる方
- 家族・同居人に上記症状が出ている方
- 本人・家族・同居人が濃厚接触者として自宅待機期間となっている方
- PCR 検査にて陽性反応が判明し、陰性確認後 2 週間以内の方

2. 養成所へ来館、レッスンを始める前に

- ・起床後に検温を行い、体温が **37.2°C以上の場合¹**、又はご自身の平熱より +1.0°C以上熱がある場合は、来館を避け事務局へ直ちにご連絡ください。
- ・入館時の検温を実施いたします。(37.2°C以上の場合、入館制限をいたします)

※下記の表を基に、自身の入館制限体温を確認してください。あくまで体温に関しての基準値となりますが、熱がなくても体調が優れない場合は、無理をして授業に参加せず休むようにしてください。

入館制限を行う体温基準値

平熱（最大値）	入館制限体温
36.1°Cより低い数値	平熱より 1.0°C以上高い場合
36.2°C～36.6°C	37.2°C
36.7°C	37.3°C
36.8°C	37.4°C
36.9°Cより高い数値	37.5°C

¹出典：テルモ体温研究所 HP「知っておきたい体温の話」－日本人の平均体温データを基に設定

- ・手指のアルコール消毒、および、洗面所での手洗いをお願いいたします。
- ・時差通学、分散来館とし、人員集中を回避いたします。
- ・館内エレベーター使用時の乗員は最大3名までといたします。
- ・外から入館する前に、ウィルスを持ち込まないよう、衣服を掃ってください。
- ・マスクや衣類を置く・保管する際のビニール袋や布等をご用意ください。
- ・教室に入ったら、外で着用していた衣服から、新しい衣服に着替えてください。
(※レッスンで使用した衣服は、ビニール袋などに入れ、毎日お持ち帰りください)
- ・清潔なタオル・ハンカチ・ティッシュを持参ください。
- ・持参いただくものは、生徒間での貸し借りは禁止といたします。
- ・会話は控えめでお願いいたします。教室で座る際は、距離を取り、正面や真横は避けてお座りください。

3. 全館共通事項

- ・館内マスク着用を必須といたします。(こまめに水分補給を行い、熱中症に注意しながら着用してください)
- ・各フロアに設置してある消毒備品を使用し、手洗いや手指消毒を都度行うことを徹底してください。
- ・常に換気(ロスナイ)をONにして、3密を避け、ソーシャルディスタンスの確保をしてください。
- ・窓・扉開けや、サーキュレーターなどを使用して、こまめに空気の入れ替えを行ってください。
- ・着替えの時短・簡素化にご協力ください。(できるだけ最低限の着替えでレッスンがスタートできるような服装でお願いいたします)
- ・教室内において水分補給以外の飲食は原則禁止といたします。(ただしレッスンが連続して行われる場合、休憩時における飲食は許可しますが、近距離・対面での会話は控えるようにしてください)
- ・当面、1F ロビーの自由解放と自主練での稽古場開放は禁止といたします。
- ・自身が出したゴミの持ち帰りのご協力をお願いいたします。(教室清掃時に出たゴミは事務局へお持ちください)
- ・レッスン終了後、教室の清掃&消毒作業が完了次第、すみやかに退館してください。
- ・床に直接手を付いたり、座らないようにしてください。やむを得ず座る場合は、レジャーシート等の敷物を敷いた上に座るようにしてください。

4. レッスンに関して

- ・レッスン時は、マスクとフェイスシールドを常時着用して行います。
※飛沫感染、濃厚接触のリスク軽減の為、当面はマスクとフェイスシールドを完全着用の上、レッスンを実施。発声の際もマスクは外さないようにしてください。レッスン内容によっては、マスクの着用により、熱中症や酸欠の症状など、体調を崩してしまう恐れもあるので、少しでも異常を感じた場合は教室外に出て、静養するようにしてください。
- ・なるべく1箇所に密集せず、適当な距離を保てるよう工夫し、近距離対面での会話を控えるようにしてください。
- ・常に換気(ロスナイ)をONにして、3密を避け、ソーシャルディスタンスの確保をしてください。
- ・扉開けや、サーキュレーターなどを使用して、こまめに空気の入れ替えを行ってください。
- ・タオルやハンカチ、ティッシュ等を常備して、咳やくしゃみのエチケットにご協力お願いします。

5. 持参必須の持ち物について

- マスク、フェイスシールド
- 着替え
- 清潔なタオルやハンカチ、ティッシュ等
- マスクや衣類を置く・保管する際のビニール袋や布等
- レジャーシート等の敷物

…上記に加え、携帯用のアルコール除菌スプレー等があると良いでしょう。

6. 清掃・接触感染防止対策（消毒の徹底）

- ・他者と共有する物品等、手が触れる場所の消毒・清掃を徹底してください。
→エレベーター内外ボタン、ドアノブ、電気・エアコンのスイッチ、イス、テーブル等、音響機材、モニター、リモコンを使用した場合は同様に消毒・清掃をしてください。
- ・教室の床はレッスン終了の都度、除菌フローリングワイパー等での清掃を徹底してください。
- ・稽古着・衣類はこまめに洗濯し、清潔を保ってください。
- ・掃除の際は、扉を開けて換気するようにしてください。

7. トイレ・手洗い場の利用・消毒

- ・窓を定期的に関開け、換気設備は常に作動させるなど、常に換気を心がけてください。
- ・使用時は、蓋を閉めて流し、流水と石鹸での手洗いを徹底してください。
- ・トイレ使用后、レッスン終了ごとに消毒・清掃を行ってください。
(特に便座、便器洗浄レバー、洗面所水道、ドアノブ)
- ・液体石鹸、ペーパータオル、清掃用具は常備。無くなった場合は事務局までお知らせください。

8. レッスン中に体調不良者が出た場合

- ・レッスン中、発熱・風邪症状など、体調不良者が発生した場合は、速やかに事務局へ連絡してください。該当生徒を帰宅させ、医療機関の指示に従い、自宅にて休養など対策を行います。
レッスン中、少しでも体調が優れない時は、我慢せず、申し出てください。
体調を崩した日の翌日、本調子で無い場合は、無理をしてレッスンに参加せず、休むようにしてください。

9. 濃厚接触者となった場合

○濃厚接触者となった場合は、速やかに事務局へその旨を報告してください。

【報告事項】

- ・濃厚接触者となった経緯
- ・保健所からの指示事項（担当保健所名、連絡先、自宅待機期間、PCR 検査の予定など）
- ・これまでの自身の症状
- ・家族・同居人の状況
- ・発症前 1～2 週間までの行動をいざという時に報告できるようまとめておく。
→外出先（養成所、アルバイト先、職場、会合を含め）、接触者など

○新型コロナウイルス感染が確認された場合、診断結果を速やかに事務局に報告してください。

- ・陽性の場合、医療機関の指示に従って行動。
- ・陰性の場合、経過観察期間（2週間）自宅待機。
(PCR検査の結果が陰性でも、自宅待機となります。)

○その他

生徒・教師・スタッフ側から濃厚接触者である旨の情報を得た場合は、当該者の居住地域の保健所に濃厚接触者に対する今後の対応を確認した上で、感染の有無等状況が明らかになるまでの間、当該者に対して入館停止措置を実施いたします。

- ・保健所の指導を元に、必要に応じて臨時休講やビルの閉鎖などを検討いたします。
- ・必要に応じて他の生徒・教師・スタッフの健康観察を実施いたします。
- ・ご自身がお住まいの地方自治体の保健所や新型コロナウイルスにかかる相談窓口の連絡先を把握するとともに、情報をこまめに確認するようにしてください。
- ・接触者に相当しない場合でも、事務局が必要と判断した場合、PCR検査等の対応を行っていただきます。

10. 自身が発熱や新型コロナウイルス感染を思わせる症状が生じた場合

(1) 1日目

自身の平熱以上の発熱がある。もしくは、せき、強いだるさ（倦怠感）、息苦しさ（呼吸困難）のいずれかが続くなどの症状があった場合は、事務局に連絡をして、自宅で安静にする。

【報告事項】

- ・これまでの症状：特に発熱の経緯
- ・家族・同居人の状況
(特に上記の症状のある・なし)
- ・発症前1~2週間までの行動を報告できるようまとめておく。
→外出先（養成所、アルバイト先、職場、会合を含め）、接触者など

(2) 2日目~3日目

- ・平常体温かつ体調が完全に回復した場合はその翌日から授業に参加して良い。
- ・発熱あるいはせき、倦怠感、息苦しさ等の症状が続く → かかりつけ医などを受診の上、自宅で安静にする。
(日々の体温など記録しておく)

※基礎疾患等のある方は、上記の状態が2日程度続く場合は、かかりつけ医や各地方自治体の「発熱相談センター」（地域によって名称が異なります）に電話相談を行ってください。

【報告事項】

- ・体温、上記の症状経過の報告
- ・家族・同居人や接触者の状況

(3) 4日目

風邪の症状や自身の平熱以上の発熱が4日以上続き、強いだるさ（倦怠感）や息苦しさ（呼吸困難）の症状が続く場合（4日経っていなくとも症状が強い場合も）は、かかりつけ医や各地方自治体の「発熱相談センター」（地域によって名称が異なります）に電話相談を行ってください。

【報告事項】

- ・かかりつけ医や「発熱相談センター」に相談した結果内容、担当保健所名、連絡先
- ・体温、症状経過の報告
- ・家族や接触者の状況

(4) 新型コロナウイルス感染が確認された場合、診断結果を速やかに事務局に報告してください。

- ・陽性の場合、医療機関の指示に従って行動。
- ・陰性の場合、症状が落ち着いた後も経過観察期間を設け指示があるまで自宅待機。

○その他

- ・保健所と事務局間でも連絡を取り、サポート体制を敷きます。
- ・感染の予防上、必要があれば全クラス又は該当のクラスについて休講措置をとります。
→保健所へ相談の上、当該者の症状の有無、教室での活動の態様、接触者や感染経路の特定等を確認し臨時休講実施の有無、規模及び期間について判断いたします。
- ・保健所の指示に従い、館内の消毒作業を実施いたします。
- ・プライバシーに配慮した上で、当該者、関係者に対して説明文書を公開いたします。
- ・**ご自身がお住まいの地方自治体の保健所や新型コロナウイルスにかかる相談窓口の連絡先を把握するとともに、情報をこまめに確認するようにしてください。**

引き続き、生徒、講師、スタッフの皆様の健康と安全を第一に考え、感染防止に努めてまいります。自分の身を守ることが、大切な人々を守ることに繋がります。今一度、一人ひとりが意識を高めて、このコロナ禍を乗り越えていきましょう。

皆様のご理解とご協力のほど、よろしくお願い申し上げます。

81ACTOR'S STUDIO 事務局